



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KANAZAWA-SAIGAWA
CHARTERED IN JUNE 12, 1993
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS
THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
c/o YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN ☎920-0998 ☎(076)221-5398

国際会長主題 「輝かせ あなたの光を」
アジア会長主題 「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」
西日本区理事主題 「“みんな仲間” 働こう！！」
中部部長主題 「いざたて中部！！今がその時！！」
金沢犀川クラブ会長主題 「Y's men's 運動の原点 EMC(E-1, M-20, C-100)の実行の時」
会長：三谷信三 副会長：川村孝治 書記：川上 明 会計：作田健意 直前会長：北 肇夫

今月の聖句：なぜなら、互いに愛し合うこと、これがあなた方の初めから聞いている教えたからです。カインのようになつてはなりません。彼は弱い者に属して、兄弟を殺しました。なぜ殺したのか、自分の行いが悪く、兄弟の行いが正しかったからです。だから兄弟たち、世があなたがたを憎んでも、驚くことはありません。わたしたちは、自分が死から命へと移つた事を知っています。兄弟を愛しているからです。愛することのない者は、死にとどまつたままです。

ヨハネの手紙一 3. 11-14

2005年5月 強調月間 LT

ワイズメンズクラブに集う人々が、いつも“心の集団”になることを目標として頑張ることが望まれます。そのためには一人が皆のために働く、奉仕をするということを学ばなければなりません。全ての学びは奉仕の現場にあるでしょう。

柴田善朗理事

☆☆☆5月例会案内☆☆☆

日時：5月26日(木)PM7:00～9:00
場所：金沢国際ホテル
会費：3,000円
* * * プログラム * * *
司会 : 川村君
開会・点鐘 : 三谷会長
ワイズソング : 一同
今月の聖句 : 司会者
ハッピーバースデイ : 三谷会長
ゲストスピーカー紹介 : 三谷会長
食前の感謝 : 平口君
会食
卓話 犀川以南の話 (富樫氏と高尾城)
元伏見台公民館館長澤田利丸氏
委員会報告 : 各委員
ニコニコタイム : 作田君
閉会・点鐘 : 三谷会長

☆☆☆4月例会報告☆☆☆

[第二例会]

日時：4月14日(木)PM7:00～9:00

出席者：川上君・高木君・北君・三谷君

[第一例会]

日時：4月29日(木)PM7:00～9:00

場所：金沢 YMCA 会館

出席者：川上君・川村君・作田君・高木君・平口君・三谷君・吉本君

クリーンキャンペーン 4月3日(日)AM7:00～9:00

犀川左岸及び新桜坂 参加者：川上君・川村君・北君・高木君・三谷君・吉本君

臨時役員会 4月10日(日)

出席者：川上君・作田君・三谷君・吉本君

○今月のハッピーバースデイ

川上 明君 : 5月16日

平口久美子さん(ネット) : 5月20日

○6月5日(日)AM6:40から AM10:00

クリーンキャンペーンにご参加ください

4月在籍者	4月出席者	4月出席率	B F	ニコニコタイム
正会員 10名 広義会員 0名	メン 8名 ネット 0名 コメット 0名 ゲスト 0名	80% (メーキャップを含む) 90%	4月分切手 0 g 4月分現金 0 円 本年度累計 切手 500 g 現金 0 円	4月分 0 円
合計 10名	8名			累計 26,676 円

「京都部・中部・びわこ部 合同YYフォーラム」と「夜桜フェスタ」に参加して
北 肇夫



2005年4月17日（日）京都YMCAリトリートセンター（京都府宇治市二の尾宇川）において、「三部合同のYYフォーラム」と京都YMCA主催の「夜桜フェスタ」が同日開催されました。中部からは川村部長をはじめ 7クラブ16名、京都部からは渡邊部長はじめ 220名、びわこ部からは松田部長をはじめ 19名、西日本区からは柴田理事や役員の方々ならびに京都YMCAの方々が参加し、多くの参加者で大変賑いました。

今回の「YYフォーラム」は野外で行なわれ、桜の木のもと、新鮮な企画が際立っていました。代表のクラブからYMCAサービスや催し物の実施状況の披露がありました。

引き続き、夕刻より「夜桜フェスタ」がリトリートセンターで催されました。野外ステージでは、開会セレモニーの後、フォークソングの生演奏、フォトコンテストの表彰式などが披露されました。ステージ前の広場には、在京クラブにより多彩な「バイキング」屋台が設営され、どの店も大賑わいでました。途中、カウントダウンによる「ライトアップの点灯式」が行われ、この日のために準備された投光器で、周囲の桜が闇に浮かび上がり、雰囲気を盛り上げてくれました。

今回の行事の企画・運営は全面的に京都部皆さんに依存しており、取り分け橋渡しをしていたいたいYSA・ユース事業主査川上孝司ワイスにもお世話になりました。また、多くのワイスとの交流ができ、ファイアストームを囲んでの語らいも良い思い出となりました。朝早く金沢を電車で発ち、夜遅くの帰宅となりましたが、温かいおもてなしで、充実した楽しい1日を過ごすことができました。厚く感謝申し上げます。

3月第一例会卓話
“私たちのピア・カウンセリング—ガン患者家族のこころのケア”を聴いて
北 肇夫

卓話者の堂上眞次氏は「石川よろこびの会」の会長をなさっており、この会の紹介から話しが始まりました。この会は“がん体験者の集い”として昭和62年9月に発足し、10都道府県で同様の会が結成されているそうです。

「石川よろこびの会」の会員は150名ほどで、会報の発行・総会の開催・健康に関する講演会への参加・旅行の実施などにより、お互いの体験や健康状態の情報交換を行い、ともに慰め励まし、親睦を図っていることです。また、自己の体験を通じて、がんの予防・早期発見・早期治療の大切さを広く訴えるため、会員が講師になりミニ講演会の開催・街頭PR・白山登山・がん患者への心のケア(ピア・カウンセリング)などを行っています。

次いで、がんの予防・早期発見・早期治療の大切さを統計に基づき説明してくださいました。①二人に一人はがんになり、三人に一人はがんで亡くなる時代であること、②がんは初期症状がなく、がん細胞の一般的な増殖スピードが100日で倍になること、③石川県のがん検診の受診率(40歳以上)は、全国平均14~15%に比べて12~13%と若干低いこと、④発生率の高い部位(肺・胃・大腸など)では、画像診断技術の向上で簡単な検診で発見できるものが多いこと、⑤前立腺がんは、早期発見で100%治ること。

特に印象に残ったのは、よい主治医を見付ける心構えなどについて、日野原重明医師(聖路加病院・理事長)の言葉を借りて紹介されたことです。①自分の限界を心得ている医師を探そう、②患者の話をよく聞く医師がよい(本来医学は“病を癒す”以前に“患者を癒す”使命を有するものである)、③別の病院で前の病院の誤診が明らかになった時、ぜひ前の医師に伝えてほしい(医師も自分の下した診断に不安を抱えているので、反省し経験を積むことになる)。

そのほか、がん告知、セカンドオピニオン、インフォームドコンセントのことなどについて分かりやすく話してくださいました。